

第 212 回 友の会 木幡池の冬鳥観察会

～水鳥、とりどり、撮り放題～

日 時：1月 22 日（日）9 時 30 分～12 時 15 分

場 所：宇治市 木幡池

天 候：晴れ 気温 5℃

参加者：41 名（内子供 1 名）スタッフ 18 名

合計 59 名



カワラヒワ

集合場所の木幡児童公園→京阪木幡駅前→木幡中池観察→中池東側を北へ→堂の川を左に出て木幡北池南側で観察→中池西側を南へ→木幡南池西側で観察→弥陀次郎川に沿って住宅街から宇治川右岸→大島児童公園



ダイサギ

中池は周囲を住宅や道路で囲まれているためか鳥は少ないが、高層住宅裏から北池に近づくとカワセミの声がして数羽が飛び回り、参加者の注目を集めた。



カワウ

あいさつと行程と注意事項の説明、人数確認後、交通安全のため参加者 5 名程度に担当者がつき木幡中池まで先導。



オオバン



北池は南側から見ると水面は少なくほぼ湿地。樹木が多く野鳥には安心できる環境だが、近年バス釣りの人が多い。それでも季節毎にじっくり見るといろんな野鳥が期待できる場所で、多数のオオバンが泳ぎ、ヌートリアものんびり採餌。



キンクロハジロ

最も多いのはホシハジロ、キンクロハジロで、ハシビロガモやオカヨシガモも多い。歩道から遠い側にはナポレオン帽子の緑色の頭と羽根の模様が美しいヨシガモ雄7、雌2が休んでいた。リーダーの話では今季最多とのこと。

その後、宇治川に出て団地内の大島児童公園でまとめと人数確認が行われた。



ハシビロガモ

見聞きした野鳥：36種

オカヨシガモ、ヨシガモ (9)、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ (51)、キンクロハジロ (27)、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、ミサゴ、トビ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、アオジ (数字はリーダーの記録)

(記 松井)



イカル

南下して南池に行くと、広い水面に水鳥が多数浮かんで参加者の観察も熱が入る。



ジョウビタキ